



コロナ禍 × 避難所運営

# 「新しい生活様式」を取り入れた 災害時の避難所運営に向けて

問い合わせ 防災室 ☎229-3104 FAX223-6247

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、日頃から3つの密を避けるなど「新しい生活様式」が示されています。災害への備えも、ハザードマップで事前に適切な避難行動を確認する、備蓄品や防災グッズに感染防止用物品を追加するなどの対策が必要です。

これらのコロナ禍における災害への備えについて、市民の皆さんへの周知・啓発のほか、コロナ禍でも安心して避難していただけるよう、避難所での感染症対策の充実に取り組んでいます。

## 避難所での感染症対策を徹底

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、2回の補正予算で総額1億8,327万円を確保し、右記の事業を実施しています。今後も継続して検討を行い、必要な物品の整備などに取り組みます。



整備済み

### 避難所における 新型コロナウイルス 感染防止対策事業

全ての指定避難所と土砂災害避難施設(計180カ所)に感染防止用物品を緊急的に整備 予算額1,000万円

物品	数量
マスク	1万8,000枚
ハンドソープ、アルコール消毒液、施設消毒液	各180本
非接触式体温計	180個
ビニール手袋	9,000枚
ウェス(布巾)	1,800枚
簡易間仕切り、段ボールベッド	各443組
プライベートテント	16張

整備中

### 大規模災害避難対策事業

避難所開設に備え、小中学校や体育施設などの避難所へ感染防止用物品を追加整備 予算額4,383万円

物品	数量
簡易間仕切り、敷マット	各1,745組
連結式パーテーション	544個
折りたたみ椅子兼ベッド	1,720個
情報収集用テレビ	33台
フェイスシールド	690個

整備中

### 集会施設と小中学校の トイレ洋式化

避難所としての機能を担う集会施設や小中学校のトイレの洋式化について、計画を前倒しして早期に整備 予算額1億2,944万円

施設区分	設置数
集会施設	26基(15施設)
小学校	133基(31校)
中学校	56基(13校)

### 感染防止対策を踏まえた 避難所運営業務の強化

対策を講じながらの円滑な避難所開設・運営のための各種マニュアルなどを作成・改訂

- 避難所担当職員向けマニュアルの作成、研修の実施
- 地域の自主防災組織等に向けた「津市避難所運営マニュアル策定の手引き」の改訂